

第3回NCCコスメティック甲子園

首都圏エリア予選会を開催

資生堂・若手経営者の会(NCC)は6月19日、化粧品専門店のスタッフがメイクアップ技術を競い合うコンテスト「第3回NCCコスメティック甲子園」の首都圏エリア予選会を資生堂販売首都圏支社・代々木オフィスにて開催した。

会の冒頭、挨拶に立った競い合って高め合い、悪しき友は誘い合って墮落する」という言葉を大切にしたい。これは化粧品の専門家を元気にしていこうとモチベーションを高くして、中部エリアでは99名の参加者の中から8名が8月4日に行われる全国大会への出場を決めた。昨日も九州エリアで3名が切符を手にし、本日はここに参加した47名のなかから4名が全国大会に進出する」と述べた後、「NCCでは『良き友は皆さんがこれだけの規模



に付けて行われ、審査員は資生堂ビューティースペシャリストの六角由紀子氏をはじめとする8名がつかめた。審査ではお客様の最高の美しさを引き出すメイクアップの提案」をテーマに、モデルの特徴を見極めて違和感のない仕上がり範囲内でどこまで印象に残る美しさを引き出せるかを8名の審査員が厳しくチェックした。

競技を終え、厳正な審査の中から皆川あゆみさん(フルフル)、鈴木元子さん(三共薬品)、小山さと子さん(ひまわり堂化粧品店)、中西有紀子さん(ミュー・ド・ポウ日吉店)の4名が最優秀賞を受賞し、8月4日の順でA・Bの2チーム

に資生堂美容技術専門学校で行われる本大会出場を決めた。表彰式では、六角氏が審査を終えた感想として「今回のテーマはお客様の美しさを引き出すというところで、この人は肌がきれい、目が素敵と思っ

今年で45周年を迎える「コスメデコルテ」から、サイエンス&テクノロジーの力を凝縮した新次元の化粧水「リポソームトリートメントリキッド」(170mL 1万円、9月16日発売)を発表するの

コスメデコルテに新次元の化粧水投入で発表会開催

コーセー

「リポソームトリートメントリキッド」は、キメの一つひとつに行きわたる、高いハリ感と透明感が得られる、同社が培った技術を惜しみなく投入した新次元の化粧水。多重層構造の「リポソーム」を安定に分散し、さらに従来のリポソーム剤型に配合している「リン脂質」に、新たに



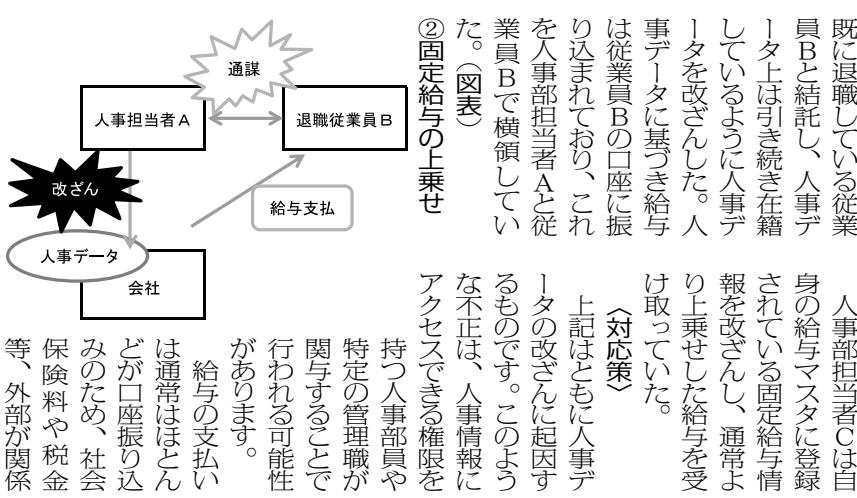
イングリッド脂質」を組み合わせた新型リポソームを開発した。リポソームの膜の構造をコントロールすることで、液状での安定化に成功しており、肌へのなじみがよく、使用後の潤い感と透明感に優れ、どんな乳液とも相性良く組み合わせさせて使えるという。

感じ、そして皆さんの目もしいないが、参加すること自体が大変素晴らしい。改めまして皆さんが嬉しかった。大会への参加を誘われたとき、改めて欲しい」と語った。

開発にあたっては、見た目の美しさを劇的に変えることをテーマに据え、肌表面の角層細胞に存在する細胞接着因子の代謝に着目した。新たに開発したブッチャーズブルー根エキス・ビワ葉エキスを配合した化粧水の使用により、角層細胞が広がり、肌の水分量や透明感が改善していく。また、12年以上の歳月をかけた生じたこの化粧水では、新規採用のリン脂質を使用することで、膜の流動性が向上することにより

新日本有限責任監査法人
不正事例に学べ!
第15回
人事部員が関与する人件費不正
五藤徳彦 (ことうのりひこ)
新日本有限責任監査法人 スタッフ
2012年、新日本有限責任監査法人に入所後、化粧品業を中心に、機械製造業、証券代行業、リース業等幅広い業界の監査業務に従事。その他、内部統制アドバイザー等の業務も担当。

皆さんこんにちは。公認会計士の五藤です。前回(第13回)では従業員が主体となって行っ人件費不正について取り上げました。今回は人事部員や一定の権限を持つ管理職によって行われる事例についてご紹介しします。従業員レベルの手口とは異なり、人事部員や管理職が関係することで人事データの改ざん等、情報の辻褄を合わせるような手法で行われる可能性があり、より発覚しにくくなることがあるため、注意が必要です。



既に退職している従業員Bと結託し、人事データ上は引き続き在籍しているように人事データを改ざんした。人事部員が一定の権限を持っており、これを人事部担当者Aと従業員Bで横領していた。(図表)

②固定給与の上乗せ

人事部担当者Cは自身の給与マスタに登録されている固定給与と情報とを照合し、通常より上乗せした給与を受け取っていた。

人事部担当者Aは人事データの改ざんに起因するもので、このよう不正は、人事情報にアクセスできる権限を持つ人事部員や特定の管理職が関与することで行われる可能性があり、より発覚しにくくなることがあるため、注意が必要です。

不自然な従業員情報がないかを確認すること、有効な手段と考えることが重要です。上記のような内部統制体制を強化すること、一定の権限を持つ社員には特にコンプライアンス意識の向上に取り組むことも必要になります。

私の担当回では、3回にわたり人件費に絡む不正を取り上げました。会社の規模が大きくなるにつれて、従業員数の増加や雇用形態の多様化等により複雑になることにより発覚しにくくなります。みなさんの会社でも一度見直されてはいかがでしょうか。



長谷川氏は、「コスメデコルテ事業は、今年45周年を迎える。この記念すべき年に、新しいロゴをもって新しい歴史をつくりていきたい。大変視認性が高く、どの国においても読みやすく、覚えやすいこのコミュニケーションロゴによる全世界での新しい展開に期待して欲しい」と述べた。

湯澤氏は「今回の化粧水は、まずは美容液『モイスチュアリポソーム』のみを使用している層をターゲットに据え、拡販を図っていく。さらに、各種生活者調査で8割強が使用しているといわれる化粧水ジェルにおいて、コスメデコルテ愛用者の利用率はまだその水準に達していないことから、一部ブランド内でカニバリが起るかもしれないが、それ以上に新客を獲得できる可能性が極めて高い(同社)とみて、競合他社品からのスイッチに全力を挙げて取り組む方針だ。